

防災はじめるプロジェクト

香川大学防災士クラブ × 熊本大学熊助組

わたしたちについて

防災はじめるプロジェクトは、香川大学防災士クラブの部員の一部が熊本大学と協力して行うプロジェクトです。



目標

1. 香川県で個々の防災力向上
2. 熊本の被災と復興の様子を知ってもらい、被災を未来の災害に活かすこと



映像・パネル製作

「被災を今後の防災につなげてほしい」という思いや、熊助組の「時間が経っても復興できていない地域がある」という現実を伝えるために、熊助組の協力によりいただいた被災地の写真や被災地の方々への取材映像を使って、映像パネルの制作を行っています。インターネット上に公開予定ですが、より多くの人に見ていただくために公開方法は検討中です。



防災啓発活動

熊本の被災を未来の災害に活かすため香川県内での防災活動を計画中です。当初は高松市内の小中学校で防災教室を実施予定でしたがコロナ禍で思うように実施できていません。しかし、子どもが防災を主体的に学習できるような冊子を作成し活動の準備を行っています。



はじめに

みなさんは、地震や風水害などの災害が起きたとき、どうすればよいかわっていますか？
災害が起きたときは、自分で自分の身を守らなければなりません。
この防災ハンドブックを使って、災害の知識や災害が起きたときの身の守り方などを一緒に学んでいきましょう！

地震	3
風水害	5
火災	5
自然災害	5
マダムのランをしよう	6
自分の防災計画を立てよう	7・8
保護者の方へ	9

もくじ

— 2 —

冊子作成

小学校での防災教室用に作成しました。
 小学生が学びながら書き込めるようにワークシート部分を多く作りました。
 また、玄関などに置いておき、いつでも持ち出せるようにして有事の際の手助けとなることや災害について考えてもらい実際に防災活動を「はじめる」きっかけになることを願って作りました。



03 自分の避難行動計画を立てよう

① 家との連絡方法

地震時の避難場所

風水害時の避難場所

火事・地震	警報	災害対応ダイヤル
119	110	171

メモ

② 地震発生時の避難について考えよう

火事が起きたら…? ベッドがいたときは…?

③ 風水害発生時の避難について考えよう

お年寄りがいるときは…? 近くの川が氾濫したときは…?

02 風水害

① 台風が発生したら?

② 危険な場所は?

③ 屋外にいるとき

④ 自分の家、友達の家にいるとき

マイタイムラインをつくらう

災害情報	避難行動のヒント	しびんの行動
1 大雨が降る	みんなの避難場所を確認し、避難経路を確認する。避難場所や避難経路が変更されたらすぐに確認する。	避難場所や避難経路を確認する。
2 大雨が降る	避難場所や避難経路を確認する。避難場所や避難経路が変更されたらすぐに確認する。	避難場所や避難経路を確認する。
3 大雨が降る	避難場所や避難経路を確認する。避難場所や避難経路が変更されたらすぐに確認する。	避難場所や避難経路を確認する。
4 大雨が降る	避難場所や避難経路を確認する。避難場所や避難経路が変更されたらすぐに確認する。	避難場所や避難経路を確認する。
5 大雨が降る	避難場所や避難経路を確認する。避難場所や避難経路が変更されたらすぐに確認する。	避難場所や避難経路を確認する。

01 地震

揺れを感じたら命を守るシェイクアウト

1 体勢を低く 2 頭を守る 3 動かない

屋内で地震にあったら?

自分の家の安全な場所はどこだろう?

- 火事が起きていないか確認して、火が出ていたら外に出て大声で人を呼ぼう
- 避難するときエレベーターは使わない
- 机やテーブルの下にもぐろう!
- ドアを開けて出口を確認する

屋外で地震にあったら?

自分の通学路の危険な場所はどこだろう?

- 切れた電線には触らない、近寄らない
- 遊具から離れよう
- 塀など倒れてくる物から離れよう
- 瓦や看板など落ちてくるものに注意しよう
- 海の近くにいる場合は海からすぐに離れよう (時間がかかるときは高い場所へ逃げよう)

冊子を用いた活動

11月3日にサンメッセ香川にて開催されたママ∞フェスタ2021に参加しました。

自作した防災ハンドブックを使って子どもたちと一緒に家庭の防災計画を立てる活動を行いました。

午前と午後合わせて全71組、約200人の方にご来場いただき、地域社会に良い影響を与えることができました。

子どもたちには元気をもらい、保護者の方々からは今回の活動だけでなく熊本大学との活動についても温かいお言葉を頂くことが出来ました。



WEB

NEWS WEB

子育て家庭向けの防災フェア 非常食や
など

11月03日 16時01分



香川大学 学生の団体 防災の啓発活動に取り組む
みずから制作した防災ハンドブックを手渡す

高松市の「サ
まな非常食や家具の転倒防止のための「突っ張り棒」など、およそ
グッズが展示されています。

と避難するときに持っていた方がよい犬用のライフジャケット
の袋なども紹介されています。

に取り組む香川大学の学生の団体は、みずから
危険な場所がないかなどを質問し

パネル作成

熊本地震・熊本豪雨の被害と復興の様子

熊本地震の被害について

熊本地震の被害の概要

熊本地震は熊本市、上益城地域及び阿蘇地域を中心に多数の家屋倒壊や土砂災害など、甚大な被害をもたらし、県内の死者は270人、重軽傷者は2,737人になっている。

住家被害は約19万8千棟に上り、国道57号や国道325号阿蘇大橋などの幹線道路の寸断や停電、ガス供給停止、断水、通信断絶など、県民の生活を支えるインフラに甚大な被害が生じた。

県内の被害額は、県や関係機関が公表した推計で約3.8兆円に上っている。



① ②

熊本地震の被害によって発生した廃材が運動場に積まれている。シヨベルカーや車の大きさと比べると、廃材がかなり多いことが分かる。

私たちは学祭や各種イベントで展示するパネルを作成しました。

熊本大学の熊助組さんに協力していただき被災地でのボランティア活動や被災したときのことについて教えていただき、復興の様子や学生ボランティアについてのパネルを作成しました。

安否確認方法や防災グッズについてなど計6種類、14枚のパネルを作成しました。

学祭でのパネル展示



10月30日、31日の学祭でパネル展示や映像上映、
標語コンテストを行いました。

本企画をきっかけに作成した映像やパネルを参考
にご覧いただき、各々自由な標語を応募してい
たきました。

標語コンクールには約50名の香大生に応募してい
ただくことができました。



動画制作活動

熊助組の皆様に、被災した方へインタビューを行ったり被災地の映像を撮影していただいたりし、映像制作を行っています。「被災を今後の防災につなげてほしい」、「時間が経っても復興できていない地域がある」という願いや現実を伝えることが目的です。また現在は長編映像を作成していますが、いただいた映像を少しでも多くの方に見ていただきたいと思い、短編映像にしてSNSに公開しています。防災に少しでも関心をお持ちの方は、ぜひフォロー・ご確認ください。



情報発信・活動報告



Mail : hp2021.kgwu@gmail.com

私たち防災はじめるプロジェクト、Instagram と note にて情報発信を行っています。

現在制作中の熊本の被災に関する長編映像の公開や、防災に役立つ情報、活動の様子などを発信しています。

フォロー、シェアをしていただければ幸いです。どうぞよろしく願いいたします。

ご意見やご質問等ございましたらメールアドレスへお問い合わせください。